

介護保険施設における経口維持加算 算定プログラム

大きな流れ	具体的実施内容	施設様が行う内容	詳細解説
① 経口維持加算の取組開始	(1) 家族様へのお知らせ	(1) 当院が案内文書を作成致しますので、家族様向けに加算のお知らせをご発送頂きます。	※ <b>色字記載</b> は使用する書式です書。別紙添付の実物サンプル資料をご参照下さい。 (1) 当院より家族様向けに「 <b>経口摂取を維持するために</b> 」の文書を作成致します。まずはこの文書をご発送頂き、家族様に今回の取り組みの趣旨をご理解頂きます。
↓	(2) 施設様が評価依頼書の作成	(2)～(3) 嚥下状態が気になる利用者様について、施設職員様より「 <b>評価依頼書</b> 」を記入頂き、これをもって嚥下評価の申し込みとさせていただきます。	(2) 当院が嚥下評価をさせて頂くにあたり、施設職員様より「 <b>摂食嚥下機能 評価依頼書</b> 」をご記入頂きます。当用紙をお渡し頂くことで嚥下評価のお申込みとさせていただきます。検査対象の方は予め「 <b>訪問歯科診療、及び嚥下内視鏡検査 同意書</b> 」にご署名を頂きます。
↓	(3) 評価依頼書より現状を把握		(3) 嚥下専門医は摂食機能障害の検査を実施する前に頂いた「 <b>摂食嚥下機能 評価依頼書</b> 」の内容を確認し、ADL、食事状態、症状、リスク等をしっかり把握させていただきます。
↓	(4) 嚥下内視鏡検査の実施	(4)～(7) 当院の専門医が嚥下評価を行い(保険診療)、対象者の選定、指示書の作成を行います。施設様の各職種の方には、検査時に立ち会って頂くことで、多職種の会議・食事観察に当てさせていただきます。	(4) 当院の嚥下専門医が嚥下内視鏡検査、又は水飲みテスト等の所定検査を実地し（保険診療）、利用者様の嚥下状態の評価をさせていただきます。
↓	(5) 検査結果より対象者の選定		(5) 検査結果により、対象者（誤嚥が認められることから継続して経口による食事の摂取を進めるための特別な管理が必要である方）を選定致します。
↓	(6) 対象者への指示書の作成		(6) 検査結果に基づき、当院が「 <b>経口維持計画における歯科医師の指示書</b> 」を作成致します。当指示書により経口維持計画書の作成や栄養管理を円滑に進めることができます。
↓	(7) 多職種会議・食事観察の実施		(7) 多職種での食事観察とカンファレンスに当院の嚥下専門医がに参加させていただきます。
↓	(8) 指示書に基づき計画書の作成	(8)～(9) 当院の作成した指示書に基づき、経口維持計画書を作成して頂きます。作成した計画書は家族様に説明の上、同意を得て頂きます。	※ (3)～(6)について、当院が実施する検査（保険診療）に管理栄養士様をはじめとする各職種の方にお立ち合い頂ければ、一度で済ませることができます。要するに、検査➡対象者選定➡歯科医師の指示➡食事観察・カンファレンスまでが一度で行えます。
↓	(9) 家族様に計画書の説明と同意		(8) 施設様に「 <b>経口維持計画書</b> 」を作成して頂きます。計画書作成にあたって当院が指示書を作成しておりますので、こちらを転記して頂くことで計画書がスムーズに作成できます。
↓	(10) 経口維持加算Ⅰの算定	(10) 計画書に基づき、管理栄養士又は栄養士が「特別な管理」を実施。 ➡ <b>経口維持加算Ⅰの算定</b>	(9) 作成した「 <b>経口維持計画書</b> 」について、家族様に同意を取って頂きます。同意にあたっては当院の専門医より「 <b>嚥下機能の検査結果のご報告</b> 」の文書を発行致しますので、家族様への説明・同意を円滑に進めて頂けます。
↓	(11) 毎月の食事観察と会議へ参加	(11)～(12) 当院の嚥下専門医が毎月嚥下評価を行いますので、お立ち頂くことで、食事観察・会議に当てさせていただきます。 ➡ <b>経口維持加算Ⅱの算定</b>	(10) 管理栄養士様又は栄養士様は「 <b>経口維持計画書</b> 」に基づき栄養管理を進めて頂きます。具体的な管理方法については、入所者の誤嚥を防止する対策、適切な食物形態、摂食方法等を指示書に記載しておりますので、迷わず適切な管理方法で進めて頂くことができます。
↓	(12) 経口維持加算Ⅱの算定		➡ <b>経口維持加算Ⅰの算定</b> (11) 毎月の食事観察とカンファレンスに歯科医師、または歯科衛生士が参加させて頂くことで経口維持加算Ⅱを算定して頂くことができます。（対象人数は要相談）
↓	(13) 必要に応じた歯科診療	(14) 当院が検査を実施し継続の指示書を作成致しますので、以後同じ流れで算定して頂けます。 ➡ <b>継続算定</b>	(12) 上記に同じく、当院の専門医による嚥下診療時（保険診療）に管理栄養士様をはじめとする各職種の方にお立ち合い頂くことで食事観察とカンファレンスに当てて頂くことができます。
↓	(14) 検査実施による継続判断		➡ <b>経口維持加算Ⅱの算定</b> (13) 嚥下評価の結果に伴い、歯科診療、口腔ケアが必要な方については、当院の一般診療チームへと連携し、定期的に訪問診療を実施させていただきます。（保険診療）
↓	継続算定		(14) 算定開始より 6 か月後の継続判断については当院が再度検査を実施し、専門医より「 <b>経口維持加算継続の指示書</b> 」を作成させていただきます。 ➡ <b>継続算定</b>

